# われらが 成和

校訓「誠実・敬愛・自主」URL http://www.fukui-city.ed.jp/seiwa-j/

福井市成和中学校
令和３年度
学校だより第４０号
TEL(0776)22-8835
FAX(0776)22-8836


## ３年生は受験の真っ只中！「やるだけのことはやってきた」という自信を

１月１８日（火）の県立・私立高校推薦入学者選抜、特色選抜、スポーツ文化選抜入試を皮切りに、２月１日（火）～２日（水）には私立高校一般入試が行われました。２月１６日（水）～１７日（木）には、県立高校一般入試が控えています。今まさに、受験シーズン真っ只中です。そこで、３年生の皆さんに激励の言葉を２つ送ります。

**①「やるだけのことはやってきた」という自信を大切にしてください。「できると思えばできる」のです。**

**② いかに「平常心」で臨めるかが大切です。自分の力を最大限に発揮できるかどうかは、これ次第です。**

３年生の校舎には、「受験（授業）は団体戦」という言葉が掲示され、１・２年生の皆さんに見せたいくらい、３年生の皆さんは真剣な表情で毎日毎日頑張っています。最後まであきらめず、仲間と互いに励まし合いながら、この受験という苦境を乗り越えてほしいと思います。悔いの残らないよう、全力を尽くしてください！

■２年生は今・・・

２年生は、３月１４日（月）に予定されている立志式に向けて、総括・五訓・合唱の３部門の実行委員会を立ち上げ、準備を進めています。各クラスからの意見を参考に作った、「初志貫徹～Be together as one 心を一つに～」というテーマには、生徒一人一人が自分から行動できる姿を目指して、また学年としては、仲間を信じチャンスをつかめる学年を目指して全員で取り組んでいこうという思いが込められています。学年及び各自が立てた「志」を胸に秘めてどんな意気込みを示してくれるか、立志式本番が今から本当に楽しみです。立志式の様子は、次回号で紹介します。

■１年生は今・・・

新入生とその保護者を対象とした入学説明会を予定していましたが、新型コロナウイルスの急拡大により、動画配信による説明とさせていただきました。動画では、１年生が、成和中学校の学校紹介と題して、日頃の生活で大切にしている「成和五本柱」や、部活動、学校祭、仲間について、寸劇を通してユーモアを交えながらかつ生き生きと紹介してくれました。マスク越しではありましたが、堂々と演じる生徒の姿には大変感銘を受けました。また、歓迎の気持ちを込めた「１年コーラス隊」による成和中学校の校歌は、堂々とした歌いぶりであり、本当に胸が熱くなりました。

## ＜吹奏楽部がアンサンブルコンテストに挑みました！＞

■第３４回福井地区吹奏楽アンサンブルコンテスト

金賞　フルート５重奏、　銀賞　打楽器５重奏

毎年 12 月 10 日は「世界人権デー」、そしてこの日を含む直前の１週間を人権週間と定めていますが、本校では 11 月 29 日～12 月 10 日までを成和中学校人権週間とし、「自他の人権を尊重し、温かい心の通い合う集団の育成」、「身近な偏見や差別に気付き、正しく判断し勇気をもって行動する態度の育成」を目的に、様々な啓発活動や人権について考える取組を行いました。

この機会を捉え、いじめについて生徒の皆さんに考えてほしいことを以下に記します。

## 「人として、仲間として　～いじめ問題から考える～」

校 長　坂 田 雄 一

**いじめの問題は、平成 25 年に「いじめ防止対策推進法」という法律までできるほど、大きな問題となってきました。これまでにも全国で、いじめが原因で尊い命が失われていることを聞いたことがあると思います。**

**人は誰しも、いじめはいけないことだとわかっています。にもかかわらず、どうしていじめはなくならないのでしょうか。それは、人がもっている心の弱い一面が、時として、人に対していじめをするという行為に発展してしまうことがあるからだともいわれています。例えば、むしゃくしゃした気持ちのはけ口にしていたり、自分と価値観の違う人を除け者にしようとしたりするなど、いじめという卑怯な行為に走ってしまう人間の揺れる感情が根底にあるのではないかということでしょう。**

**では、いじめが起きない集団をつくるにはどうしたらよいのでしょうか。12 月 10 日に全校生徒で人権集会を開き、「本当の思いやりとは･･･」について話し合いましたね。そこでは、「思いやりがある行動かどうかは相手の気持ち次第であること」、だからこそ「相手の気持ちに寄り添った言動が大切であること」ということが確認され、集会後には、全校生徒が「あったかエピソード」を出し合いました。これらの意見や感想こそが、まさにいじめが起きない集団をつくるための心構えの一つだと思います。生徒一人一人が、それらを意識することで、学級や学年、部活動、そして学校全体が、これからも安心して活動できる集団としてあり続けるのです。**

**そこで、いじめに関して、生徒の皆さんに伝えたい２つのメッセージがあります。**

**まず１つ目は、「何気ない一言が相手の心を傷つけることがある」ということです。「いじめるつもりはなかった」とか「遊びのつもりで」などという言葉を耳にすることがありますが、それは単なる言い訳に過ぎません。「いじめ防止対策推進法」では、いじめを次のように定めています。「いじめとは、対象となっている相手が心身の苦痛を感じているもの」、つまり相手が心身の苦痛を感じたら、自分は嫌がらせのつもりでなくても、遊びのつもりであっても、法律上のいじめに該当し、それは、「人」としてやってはいけない行為、「人」として言ってはいけない言葉でもあるのです。また、同じことを言っても、相手によって受け取り方が違うのも現実です。また、人はみな違って当たり前であり、その違いを互いに認め合うことが人として大切なのです。これを言ったら、これをしたら相手はどう感じるかということを考える、つまり、日ごろから相手を思いやる気持ちをもつことが必要なのです。特に近年、インターネット上で相手を非難したり、悪口を書き込んだり、書き込んだ言葉を相手が違うふうにとらえたりする事案が問題となっていますが、このようなことは、残念ながら本校においてもありました。書かれた相手が大変辛い思いをするだけでなく、個人を非難する情報を書き込むことは、名誉毀損やプライバシーの侵害等の犯罪に値する可能性もあります。**

**伝えたいメッセージの２つ目は、「いじめを周りで見ていたり、見て見ぬ振りをしたりしない」ということです。万一、つらい思いをしている時は、先生や家族、友人など身近な人に相談をしてほしいのですが、なかなか言い出しにくいこともあるものです。そんな時こそ、周りの人が勇気をもって止めてほしい、それができなくても、仲間の一人として、できるだけ早く相談できる人に知らせてあげてほしいということです。これは、「チクる」ことではなく、「困っている仲間を助ける」ことなのです。知らせてくれた、教えてくれた生徒の秘密は絶対に守ります。決して、「自分は関わりたくない」というような「無関心な傍観者」にはならないでください。**

**最後に、まずは、いじめが起こらない学校・学級を生徒全員でつくり、成和中学校がもっともっと笑顔あふれる学校になっていってくれることを願って止みません。**